

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
たらし絵	小	学級活動 4年 (図画工作)	
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を重ねることがわかり、厚紙に流し込み、マーブル模様を作る。 ・自分で模様を考えたり、想像したりしながら色を選ぶ。 ・絵の具が流れて模様になる様子を楽しみながら取り組む。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1. あいさつ 2. 今日の予定 3. たらし絵 4. 鑑賞 5. あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・スモックを着て、姿勢を正して挨拶する。 ・絵本を見て、今日の予定を確認する。 ・見本を見て、作業をする。 （1）使い捨てカップに2，3色を選び、入れていく。 （2）厚紙（画用紙）にカップを置き、ゆっくりと離す。直接流し入れてもよい。 （3）厚紙（画用紙）を自由に動かす。 ・作ったものを見せて発表する。 ・姿勢を正して挨拶をする。 	<p><準備物></p> 見本 絵本 新聞紙 空き箱など アクリル絵の具（赤、黄、水色、黄緑、白） 使い捨てカップ <p><指導上の留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にせんとくのりと絵の具を1：1に混ぜておく。のりが多い方が流れやすい。 ・重ねて入れるだけで混ぜない。 ・厚紙は新聞紙やトレー、空き箱などに貼っておく。 ・円を描くようにカップを離すと、きれいなマーブル模様が作れる。 ・厚紙（画用紙）全体に絵の具が流れたらOK。少しの余白があってもよい。 	
<p><内容（工夫点など）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原色（青、緑）より薄い色（水色や黄緑）を入れることで、きれいな発色になるようにした。 ・見本を見せる時に、絵の具が流れる様子をゆっくりと観察させることで、興味をもたせるようにした。 <p><良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き箱に画用紙を貼っておくことで、絵の具を流し入れた後は下に垂れることを心配することなくじっくりと箱を傾けて流れる様子を楽しむことができた。 ・発達段階にあまり関係なく、どの児童も楽しめる内容だった。 ・絵の具を混ぜたい児童にとっては、楽しめないかもしれません。 			

